

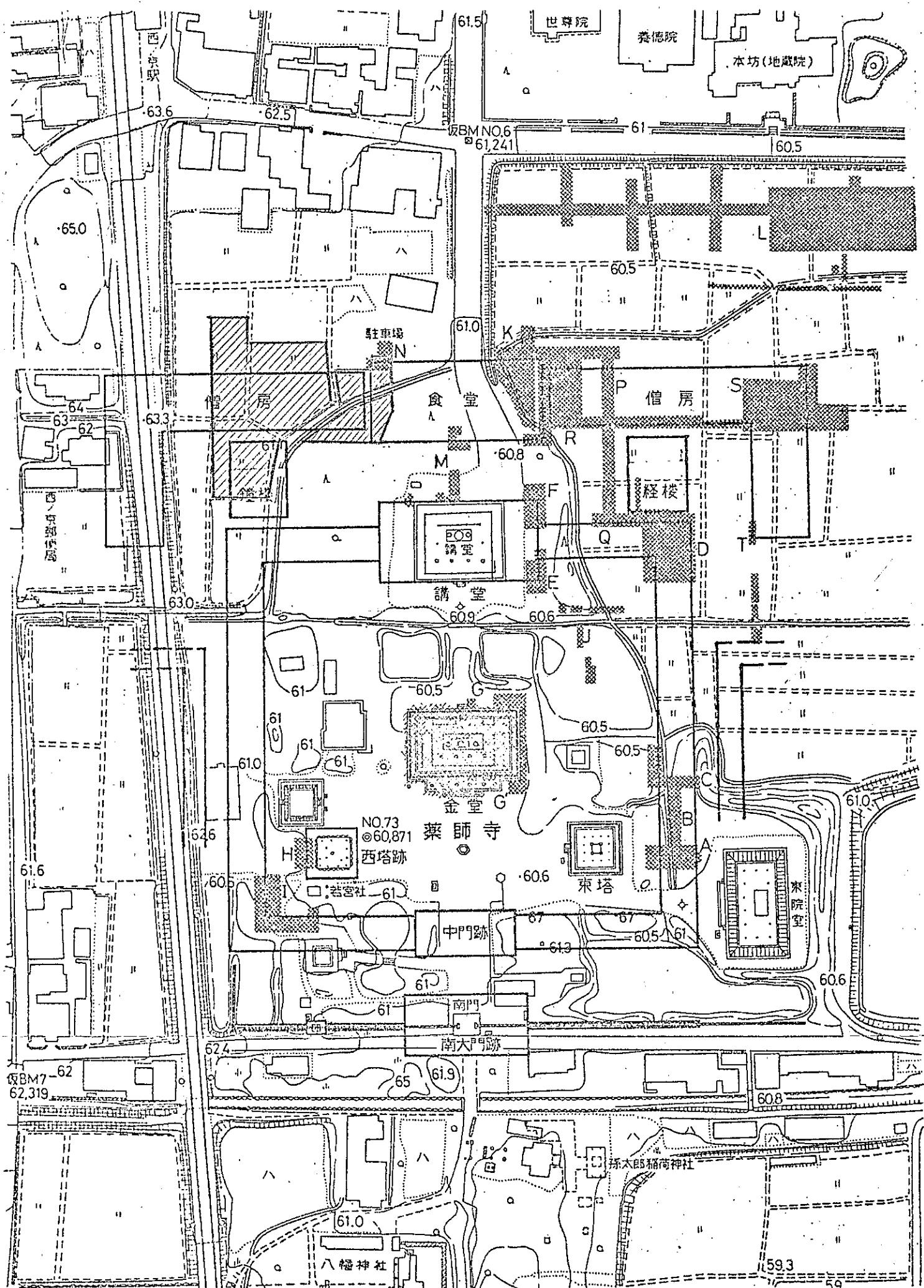




# 薬師寺略年表

- 天武9年11月(680) 薬師寺の建立を発願する
- 養老2年 (718) 伽藍を藤原京より平城京(石京6条2坊)に移す
- 天平2年 (730) 東塔を建立する
- 延長2年正月(924) 薬師寺の僧惠稔、自己の本坊と最勝会講師房(松皮葺房)を交換することを拒む
- 天禄4年2月(973) 食殿堂童子宿所より失火して、食堂・講堂・僧房・回廊・中門・南大門・経楼・鐘楼などを焼失する(焼失前、僧房は東・西・東南・東北・西南僧房、松皮葺房など14宇あり。東南・西南・西僧房・松皮葺房など焼失す)
- 天禄4年 ~ 長保2年 (973 ~ 1013) 直ちに再建を諸国に命ず。講堂・中門・鐘楼・食堂・南大門・経楼・回廊・僧房を再建す、僧房は東・西南・東南僧房、松皮葺房を再建、小宇房は10間が焼け残り南6間を造堂する。鐘楼は1005年、建法寺の鐘を奪きて旧楼跡に再建する
- 永祿元年8月(989) 大風により、金堂上層倒壊する。直ちに修營する
- 康和4年4月(1102) 西室大房で写経される。この頃西室あり
- 永久4年2月(1116) 西北室で写経される。この頃西北室あり
- 保延6年 (1140) この頃食堂あり
- 保元元年4月(1156) 興福寺大衆、薬師寺を焼く

- 永万元年11月(1165) 権別当行惠、堂塔・僧房・門・築垣などを旧の如く修造することを願う
- 文安2年6月(1445) 大風により金堂・南大門倒壊する
- 永正10年10月(1513) 兵火により西室・西院など焼失する
- 大永4年10月(1524) 金堂を再建する
- 享祿元年9月(1528) 兵火により金堂・講堂・中門・西塔・僧房など焼失する
- 延宝2年正月(1674) 鐘楼を金堂の東に移す(現鐘楼)



既調査地区      今回調査地区

49. 12. 07

薬師寺西僧房発掘調査略平面図

